

# たけだ



TAKEDA HOSPITAL

QUARTERLY MAGAZINE TAKEDA

## たけだ通信

TAKEDA [No.112] 平成29年9月20日発行



# September 2017 No. 112

### 医療法人 財団 康生会

救急告示病院・地域医療支援病院・臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)認証病院

#### 武田病院★

〒600-8558 京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841-5(JR京都駅前)  
TEL.075-361-1351 FAX.075-361-7602

#### 武田病院画像診断センター

〒600-8558 京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841-5(JR京都駅前)  
TEL.075-361-1680 FAX.075-361-1682 プリーコール 007-77-5588

#### 人間ドック健診施設機能評価認定

#### 武田病院健診センター

〒600-9216 京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町608 日本生命京都三哲ビル3F  
TEL.075-365-0825 FAX.075-361-3829

#### 北山武田病院

〒603-8053 京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町99番地(地下鉄北山駅)  
TEL.075-721-1612 FAX.075-701-7399

#### 山科武田ラクトクリニック

#### 山科武田ラクト健診センター 人間ドック健診施設機能評価認定

〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町92番地 山科駅前ラクト山科棟3階  
TEL.075-581-0910(山科武田ラクトクリニック) TEL.075-581-6696(山科武田ラクト健診センター)  
FAX.075-581-0991

#### 梶井町放射線診断科クリニック

〒602-0841 京都市上京区河原町通今出川下る東入る梶井町457番地  
TEL.075-950-5751 FAX.075-950-5753

#### 京都駅前武田透析クリニック

〒600-9216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東塩小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル6階  
TEL.075-351-9200 FAX.075-351-9201

#### 康生会クリニック

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下る油小路町277  
TEL.075-354-7227 FAX.075-354-7228

#### 柳馬場武田クリニック

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F  
TEL.075-213-2216 FAX.075-213-2217

#### 京都壬生苑診療所

〒604-8821 京都市中京区壬生堀ノ宮町31番地  
TEL.075-823-3371 FAX.075-822-6550

#### たけだ診療所 (免疫・遺伝子クリニック)

財団法人ルイ・バスターール医学研究センター関連施設  
〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東塩小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル1階  
TEL.075-351-8282 FAX.075-351-8448

#### 柳馬場訪問看護ステーション☆

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F  
TEL.075-212-7266 FAX.075-212-7321

#### 京都市 下京・中部 地域包括支援センター☆

(高齢サポート・下京中部)  
〒600-8233 京都市下京区西洞院堀小路上る北不動堂町573  
TEL.075-361-2141 FAX.075-361-2145

### 医療法人 財団 医道会

回復期リハビリテーション病棟・救急告示病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院

#### 十条武田リハビリテーション病院

〒601-8325 京都市南区吉祥院八反田町32(十条新千本角)  
TEL.075-671-2351 FAX.075-671-2961

#### 十条訪問看護ステーション☆

〒601-8107 京都市南区上鳥羽南唐戸町7番地 Kビル1階 表中号  
TEL.075-671-2415 FAX.075-671-2435

緩和ケア病棟・日本医療機能評価機構認定病院

#### 稲荷山武田病院

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町27番地(京阪烏羽街道駅)  
TEL.075-541-3371 FAX.075-532-5115

### 医療法人 財団 宮津康生会

日本医療機能評価機構認定病院

#### 宮津武田病院

〒626-0041 京都府宮津市鶴賀2059番地の1(京都丹後鉄道宮津駅)  
TEL.0772-22-2157 FAX.0772-22-1125

### 医療法人 児玉記念乳腺クリニック

〒603-8325 京都市北区北野上白梅町35  
TEL.075-463-9050 FAX.075-462-5504

救急告示病院・臨床研修指定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・人間ドック健診施設機能評価認定

#### 宇治武田病院

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-26(JR宇治駅前)  
TEL.0774-25-2500 FAX.0774-25-2353

#### 指定介護療養型医療施設

#### 木津屋橋武田病院★

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下る油小路町293番地  
TEL.075-343-1766 FAX.075-343-5739

QUARTERLY MAGAZINE TAKEDA

## たけだ通信

TAKEDA [NO.112] 平成29年9月20日発行



武田病院グループでは、環境保全活動に取り組み、CO<sub>2</sub>の発生を削減できる水なし印刷及び環境にやさしい植物油インキを採用しています。

※京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価受診施設  
★ISO9001：2008認証 ☆ISO9001:2015認証



## 武田病院グループ

http://www.takedahp.or.jp/

### 医療法人 仁仁会

救急告示病院・臨床研修指定病院・卒後臨床研修評価機構認定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・京都府がん診療推進病院

#### 仁仁会武田総合病院

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1(地下鉄石田駅・外環状線沿)  
TEL.075-572-6331 FAX.075-571-8877

#### 附属施設/仁仁会武田総合病院リハビリセンター

〒601-1439 京都市伏見区石田森南町27-1  
TEL.075-572-5139 FAX.075-571-8877

#### 疾病予防センター

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1  
TEL.075-572-6365

#### 武田クリニック[血液透析センター]

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町33-6  
TEL.075-572-6984 FAX.075-572-6218

指定管理者 医療法人 仁仁会 救急告示病院

#### 精華町国民健康保険病院

〒619-0241 京都府相楽郡精華町祝園砂子田7番地(JR祝園駅・近鉄新祝園駅前)  
TEL.0774-94-2076 FAX.0774-93-2818

#### 老人保健施設 白寿 ☆☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-572-8207 FAX.075-572-8726

#### 京都市下京区地域介護予防推進センター ☆

〒600-8233 京都市下京区七条通西洞院西入る南南大黒町227 第2キョートビル5階  
TEL.075-361-1060 FAX.075-361-0901

#### 老人保健施設 いわやの里 ☆☆

〒607-8177 京都市山科区大宅古海道町52  
TEL.075-572-1811 FAX.075-572-1880

指定管理者 医療法人 仁仁会

#### 辰巳診療所

〒601-1345 京都市伏見区醍醐外山街道町21  
TEL.075-571-8545 FAX.075-571-8555

#### おもいやり訪問看護ステーション ☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-574-1621 FAX.075-574-1622

#### 京都市 醍醐・南部 地域包括支援センター ☆

(高齢サポート・醍醐南部)  
〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-572-6572 FAX.075-575-4738

### 社会福祉法人 青谷福祉会

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ稲荷山 ☆☆

#### ヴィラ稲荷山デイサービスセンター ☆☆

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町23番  
TEL.075-561-6550 FAX.075-561-6552

#### 軽費老人ホーム ヴィラ城陽 ☆☆

#### 訪問介護ステーション ヴィラ城陽 ☆☆

〒610-0114 京都府城陽市市辺世原1番地  
TEL.0774-55-1875 FAX.0774-54-3321

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ山科 ☆☆

#### ヴィラ山科デイサービスセンター ☆☆

#### ヴィラ山科オレンジデイサービスセンター ☆☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田115-1  
TEL.075-572-6677 FAX.075-572-6866

#### 訪問介護ステーション ヴィラ山科 ☆☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田115-1  
TEL.075-575-5252 FAX.075-575-5055

#### 京都市 大宅 地域包括支援センター ☆☆

(高齢サポート・大宅)

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田115-1  
TEL.075-572-6660 FAX.075-575-5055

#### 特別養護老人ホーム 加茂の里 ☆☆

#### ケアハウス あじさい ☆☆

#### デイサービスセンター 加茂の里 ☆☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3(JR加茂駅前)  
TEL.0774-76-7607 FAX.0774-76-7802

#### 訪問看護ステーション あじさい ☆☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3(JR加茂駅前)  
TEL.0774-76-0234 FAX.0774-76-7802

#### 訪問介護ステーション 加茂の里 ☆☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東二丁目2番地1 ユニ加茂若番館(JR加茂駅前)  
TEL.0774-76-0233 FAX.0774-76-8461

#### 木津川市地域包括支援センター加茂

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東2-2-1 ユニ加茂若番館  
TEL.0774-76-8294 FAX.0774-76-8461

#### 城陽市立東部デイサービスセンター ☆☆

〒610-0102 京都府城陽市久世芝ヶ原6番地の2  
TEL.0774-56-2530 FAX.0774-56-2531

#### 三条小川デイサービスセンター ☆☆

〒604-8246 京都市中京区小川通三条下ル狸ヶ町124  
TEL.075-254-1106 FAX.075-254-1107

#### たけだホームヘルプサービス三条小川 ☆

〒604-8246 京都市中京区小川通三条下ル狸ヶ町124  
TEL.075-211-5999 FAX.075-254-1107

### 社会福祉法人 悠仁福祉会

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ鳳凰 ☆☆

#### ケアハウスやまぶき ☆☆

#### デイサービスセンターヴィラ鳳凰 ☆☆

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-35  
TEL.0774-25-2577 FAX.0774-25-2788

#### グループホーム鳳凰榎島 ☆☆

#### 複合型施設鳳凰榎島 ☆☆

〒611-0041 京都府宇治市榎島町大川原35-5  
TEL.0774-25-2050 FAX.0774-25-2160

#### 訪問看護ステーションふくろう ☆☆

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄戸内19-1  
TEL.0774-94-6069(訪問看護)

TEL.0774-94-6067(訪問介護)  
FAX.0774-94-6069

- 「医療の原点」へと立ち返り  
病に苦しむ患者さん ご家族に寄り添った  
医療・介護の提供に邁進します／武田 隆久 ..... 02
- 夏が来れば思い出す／武田 道子 ..... 04
- BTC／武田 隆司 ..... 06
- 命の時間を意識し利他の心で生きる／武田 隆男 ..... 08
- 武田病院グループの機能と役割 ..... 10
- たけだインフォメーションニュース ..... 12
- キッチン探訪  
話題の油は目分量と使い方を守りながら、上手に取り入れましょう／細川 早紀 ..... 16
- くすりのお話  
薬を使うときに注意していただきたいこと／内本 恵介 ..... 17
- ワンポイントフィットネス  
運動療法の取り組み  
喜ばれるプログラムを工夫し1991年から地域で運動を実践／今井 優 ..... 18
- ナーシングメッセージ  
地域とのつながりを大切に...  
下京・中部地域包括支援センターの現場より／岡田 知子 ..... 19
- ケアアドバイス  
「ブリッジ思いやりの会」  
介護現場のやりがいを伝えています ..... 20

# たけだ

たけだ通信

## No.112

### September 2017



今号の表紙「安曇野の水車」

## 経営理念

### 思いやりの心

私たちは常に思いやりの心もち 患者さんに信頼される病院でありたい

私たちは人々の生命の尊厳に対する希求  
健康への願いに対するニーズに応え  
地域社会に信頼される病院でありたい

私たちはお互いに尊敬と協調の心もち  
職員相互が信頼しあう病院でありたい

## 基本方針

### Bridge The Gaps

「ブリッジ・ザ・ギャップス(橋をかけよう)」

武田病院グループは  
患者さんとの間に思いやりと信頼のかけ橋を  
地域社会との間に信義と信頼のかけ橋を  
すべての職員に心と心をつなぐ  
信頼のかけ橋をつくりあげる  
努力を重ねます

### 患者さんの権利の尊重

私たちは  
患者さんの意見・立場を大切にし  
インフォームド・コンセントを  
尊重します

### 地球にやさしい環境づくり

武田病院グループは地球環境の保全を  
保健・医療・福祉活動  
及び関連活動で常に考慮し  
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ  
豊かな社会環境の実現に貢献します

## 信頼の医療に向けて

私たちは、医療とは患者さんとの「信頼と意思疎通」を原点としていることを深く認識し、  
患者さんにより良い医療を受けていただけるように日々努力を重ねるとともに、次の項目を守り、  
患者さんの健康管理・治療・療養等にチーム医療で支援します。

#### ①患者さんの人格・価値観を尊重します。

患者さんが治療や検査等を受けるにあたり、ひとりひとりの人格・価値観を尊重し、  
相互の信頼・協力関係の下で医療を行います。

#### ②良質な医療を平等に提供します。

すべての患者さんに対して、良質な医療を平等に、そして、継続的に提供します。

#### ③患者さんの立場に立ってわかりやすく説明をします。

治療や検査等についての説明や情報の提供に際しては、正確に伝えるだけでなく、  
患者さんの立場に立ってわかりやすい説明と良好な意思疎通を行って、  
理解と合意を得られるように努めます。

#### ④患者さんの意思を尊重します。

治療や検査等に際し、十分な情報提供と意思疎通を行った上で、相互の信頼・  
協力関係の下、治療方法等の選択について、患者さんの意思を最大限尊重し  
ます。

#### ⑤個人情報・プライバシーを厳守します。

患者さんの個人情報やプライバシーは厳格に保護します。

「患者さんの権利の尊重」展開 03.07.01

## ISO14001自己宣言書

武田病院グループの環境マネジメントシステムがISO14001の規格に適合していることについて自らの責任で決定し、ここに自己宣言します。  
武田病院グループは、地球環境保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に意識し、  
グループの果たすべき重要な課題として捉え、今後も尚一層積極的に環境活動を推進します。

08.12.15 武田病院グループ  
理事長 武田 隆久

## 環境方針

私たちのまち京都は、千余年に及ぶ永い歴史の中で特色のある伝統・文化をはぐくみ、  
歴史と文化の香り高い独自の環境を形成し自然との共生の中で伝統と創造のまちとして発展してきました。  
武田病院グループは京都で活動する意義と責務を深く認識し、地球環境保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に考慮し、  
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ豊かな社会環境の実現に貢献します。  
また、関連する法的要求事項、自己公約を遵守するとともに関連団体における環境理念等を尊重し、  
気候変動の緩和に適応した低炭素化社会の形成、医療・保健材料の省資源化、再生化を考慮した資源循環型社会の発展に貢献します。  
私たち、一人ひとりが適切な保健・医療・福祉の提供の中で環境の有限性を深く認識し、組織的に継続的な改善を目指した環境マネジメントシステムの運用をはかります。

#### ① 省資源・省エネルギーの推進

保健・医療・福祉活動及び関連活動における消耗品の省資源化、再生化を図り、  
資源循環型社会の形成を推進します。  
再生可能なエネルギーの導入、省エネルギーの推進により二酸化炭素の排出を抑え、  
低炭素化社会の形成を推進します。

#### ② 廃棄物の3R(減らす、再使用、再資源化)の推進

保健・医療・福祉活動及び関連活動によって発生する廃棄物の3Rを推進します。  
購入段階から再使用、再資源化可能な材料等を取り入れ、廃棄物の減量化を図ります。  
また、医療廃棄物の安全処理・廃棄については、厳重に管理します。

#### ③ 安全性・快適性の推進

自然災害・人災等に対応した地域社会との連携、施設の保健・医療・福祉活動の  
継続的改善を図り、医療消耗品、薬品、食料の備蓄、エネルギー供給の多重化等  
を含む安全確保、及び事業活動による汚染の予防と施設環境の改善、快適性を推  
進します。

#### ④ 環境広報活動の推進

環境方針・目的の全職員への周知徹底及び施設利用者、地域社会、利害関係者等  
とのコミュニケーションを目的とした情報提供、環境広報活動を推進します。

環境方針書No3 17.01.20 武田病院グループ  
理事長 武田 隆久

# 「医療の原点」へと立ち返り 病に苦しむ患者さんご家族に寄り添った 医療・介護の提供に邁進します

「経済財政運営と改革の基本方針」において、かつて成長戦略に掲げられた医療は今、効率化を進めるべき分野として、踏み込んだ施策の対象となっております。より質の高い医療を効率的かつ適切に提供することは、政策以前に我々の使命とも言える重要課題です。ただ、これを進めるにあたっては、医療者としての精神的支柱がなければならぬと考えています。今回はあらためて医療の原点に立ち返り、武田病院グループの取り組みと目指すものについてお話を致します。

## 正論であるからこそ 慎重な運用が求められる

先ごろ、国立社会保障・人口問題研究所は社会保障費の最新の統計（2015年度）を発表しました。これによると社会保障給付費は、前年度に比べて2.4%増加し114兆8596億円にもなっています。これを国民一人あたりに換算すると90万円強、1世帯あたりでは224万円強を毎年負担する計算となります。このように医療・介護費用など社会保障費の増大をいかに抑制し、かつサービス水準を守っていくのかは本当に切実な課題となっております。

ここで問題にしたいのは、「国の保険財政をどうしていくのか」という議論そのものより、その解答の一つとして「軽度

の疾患については「自己責任」との道筋が色濃くなってきたことです。

当然、我々国民は、一人ひとりが疾患にならないよう健康管理に気を付けるべきです。これは「正論」だと思います。ただ、その正論は全てのシーンで、正しく扱われるとは限りません。この正論により、本来に必要な医療や介護まで削られてしまうようなことがあれば、それは憲法で保障された国民の健康の権利を損なうことにもつながりかねません。もっと注意して取り扱われるべき問題なのです。

実際、軽度疾患だからといって健康管理を怠っているのが原因とは限りません。そもそもどれだけ医療に詳しくとも、健康管理を行っていても、罹患を100%食い止めることは不可能だからです。

置いています。そして同時に、膨れ上がる医療費の抑制も非常に重要課題だと考えて行動を行っています。

我々医療者は皆さんの健康を守る支え手の一人として、それがどんな正論であつても本質を見極め、現場の医療・介護の提供を絶やすことなく、意見発信を行ってまいる所存です。もちろんこれは医療者だけで行えるものではありませんので、患者さんや地域の方と意見を交え、緒になって進めていく考えです。

## 疾患予防や治療にあたっては 人の心への配慮が求められる

このように我々医療者は、患者さんや地域の方々の健康を守ることを第一義に

この多くは生活習慣に関わる理由で糖尿病となり、それが糖尿病性腎症を

発症し、透析治療を余儀なくされた患者さんです。

ここで注意したいのは、「生活習慣が悪い」であるとか、先ほどあげた「自己責任」などのように、簡単に断じてはいけないということです。人の心は大変、デリケートなものです。状況が進行してしまう「心の動き」を含めたものとして、病や治療があることを、医療者も患者さん、ご家族、そして周囲の皆さんも認識する必要があります。

こうした考えのもと武田病院グループでは、正しい知識の普及・意識付けが重要であると考え、十年ほど前から、広く市民の方を対象とした「糖尿病市民公開講座」を開催しています。お人でも多くの方に活動の手が届くよう、糖尿病教室ハイキングや糖尿病教室食事会など、様々な工夫を凝らし各地で実践しています。

もちろん当グループだけでなく、こうした活動は全国的に広がってきています。新たに透析を受ける患者さんの数は、当時、年間1万人規模でしたが、現在は4000人弱にまで減少してきています。制度や指定といった施策による大きな網かけはもちろん重要ですが、実感として、こうした地道な努力の積み重ねが一つの成果につながったのではないかと思います。

これら糖尿病・透析予防への活動は一例で、例えば8月にはメルパルク京都で心

武田病院グループ 理事長

武田 隆久



臓病予防を目的とした「京都ハートの日市民公開講座」を開催したり、「肝臓病教室」、「健康フェア」、「脳卒中にならないための市民公開講座」など、様々な疾患における予防の取り組みを展開・支援しています。

## 外科的緩和ケアの専門外来 認知症初期集中支援を展開

病院グループとして我々は、疾患の予防以上に治療の質と治療環境の向上に力を注いでいます。

8月から康生会武田病院では、口から栄養を摂ることの出来なくなった患者さんを対象とした「外科的緩和ケアの専門外来」を開設しました。誤嚥性肺炎の恐れや腸管麻痺などのケースに対応するものです。

このほか、増加する認知症への対応の一つとして、下京区・南区エリアを対象とした「京都市認知症初期集中支援モデル事業」の指定を受け、認知症初期の継続的なアセスメントや専門医を含めたチーム支援、関連するサービスとの連携に取り組んでいます。

私達の原点は「病に苦しむ方に対し普通の暮らしが出来るようお手伝いをする」ことです。ここに立ち返り、今後も、治療環境の向上と地域の健康の増進に努めてまいる所存です。今後ともご支援ご協力をお願い致します。



## 「夏が来れば思い出す」

今年も暑い夏でございました。私は夏を迎えると必ず思い出す出来事があります。それは8月満月の夜、松山で出合ったB29の空襲です。

土曜日で、集団疎開から我が家へ帰った夜でした。夜半頃からB29がどンドンやっつてまいりました。焼夷弾が雨あられと降ってまいります。私達は田舎の方へ必死で走って逃げました。しかし、焼夷弾はすべて自分の方へ吸いよせられるように降ってまいります。一緒に走っていた方が直撃されて倒れていかれます。私達は夜明け迄走って、川の中へ飛び込みました。そして、石橋の

1週間おそれれば助かったのにと残念です。道後温泉には進駐軍のアメリカ兵がやって来ました。小学6年生の私は、大きな兵隊さんに出合うのが恐ろしくて逃げたものです。不自由な中高時代を過ごしました。窓ガラスはなくて障子でした。大阪薬科大学へと進学いたしました。大阪の大学へ出て来ても、田舎で夜になると犬が沢山出てきて恐ろしいようなところで過ごしました。あの頃、医学部へは直接進学は出来なくて、教養で単位を取ってから再度、医学部を受験しなければいけませんでした。今は高校から直接進学出来るようになって居りますが、終戦の頃はいろいろ制度が変わり大変でした。それでも私は3月生まれですので、一番若くして医師免許を得ることが出来ました。

それから間もなく60年、半世紀を過ぎ、まだ現役で仕事出来るのは幸せです。今では考えられないような波

下に身をよせて夜が明けるのを待ちました。運悪く満月の夜、飛行機から落ちてくるのはつきりと見えませんでした。きつと上から地上を見ながら落ちていたのだろうと思いましたが、夜が明けてB29は去っていきましたが、松山の市内は焼け野原になって居り、ところどころ細く煙が立ちのぼっておりました。不思議なことに、松山城の天守閣と市内の道後温泉のみは残って居りました。月明りで上からは街の様子がよく見えたのでしよう。確認しながら落としかたのように、そこだけがきれいに残っておりました。

乱万丈の日々を過ごしてまいりました。今の皆様には考えられないようなことで御座居ましょう。

今、京都は観光都市として大勢の外国人の方を迎えて平和な日々を送っておりますが、世界では戦火におびえる人々が多く居られます。

しかし、今、世界は不穏な状態になりつつあります。京都駅あたりを歩いておきますと、外国へ来たように感じることもあります。京都の物静かな風情は少し消えつつあるように感じますが、このまま平和であって欲しいと願って居ります。

京都から少し足をのびますと、琵琶湖が御座居ます。外から来られた方には、その雄大な景色に感動されることと存じます。私は緑の樹々の中、大きな木をいただいたように思えるのですが、きつとフイトンチッドが一杯なのだろうと思つて居ります。最近、湖面と空が一体となったように見えますの



武田病院グループ 副理事長  
康生会武田病院 名誉院長  
社会福祉法人 青谷福祉会 理事長

武田 道子

毎年8月が来ますと、この恐ろしい光景が脳裏によみがえってまいります。今の多くは戦争を知らない方々で、戦争といえば湾岸戦争と思われるのではないのでしょうか。私達の戦争は大東亜戦争なのです。毎日、細々と立ちのぼる煙をめぐけて飛行機がやってきて、機銃掃射していきます。それでもししばらくしますと、焼け跡には赤いカンナの花が一番に咲きました。あの力強い赤いカンナの花が忘れられません。私は随筆集に「カンナの花」と名づけた。

間もなく終戦となりました。もう

は黄砂のせいでしょうか。将来の次世代の子の為に、世界平和を祈りつづけていきたいと思います。





## BTC

武田病院グループ 専務理事  
医療法人財団 康生会 理事長

武田 隆司



いろいろあって久しぶりに書くこのコラム。  
せっかくなので面白そうな時事ネタを探してみる。  
議員さんのアレコレはもう飽きたし、トランプ・中国・  
北朝鮮はシャレにならないので避けておこう。

ん?…なんとビットコインが分裂したらしい。  
ナンノコッチャ?

多くの人が初めてビットコイン(BTC)という名前を  
耳にしたのは、2014年に65万BTC(28億円)が  
消失したことで話題になった、当時世界最大の  
BTC取引量を誇っていたマウントゴックス社の破  
綻事件だろう。

当初はハッキングによる消失とされていたが、のち  
に代表を務めていたカルプレス氏の横領だった  
ことが明らかになり逮捕された。  
先日初公判が行われたが、本人は現在も無罪を  
主張している。

分裂したり消失したり…何だかどう考えても怪しい。

BTCはブロックチェーンという全取引を記録した  
共通台帳と言える新技術の開発により創り出さ  
れた仮想通貨の一つであり、他にもイーサリアム  
やリップルなど同様のシステムが存在する。  
ブロックチェーンは改ざん不可の堅牢性を有して  
おり、これがBTCの通貨としての信頼性を保証  
する根拠となっている。

通貨の価値は期待値により変動するので、年初は

11万円/BTCだったものが5月には33.7万円/BTC  
に跳ね上がり、その後も乱高下を繰り返している。

原因の一つは日本からの爆買いと考えられている。  
現在国内取引所を通じた出来高は約9535億円  
であり、世界で流通している時価総額2兆円のお  
よそ半分にあたる。

参考までに国内出来高は、2年前が21億円、1年前  
が1810億円であるから、いかに短期間で日本から  
資金流入されたかがよく分かる。(いずれも6月時点)

貨幣価値の始まりは「金は国の貨幣制度の根幹  
を成す基準である」と定める金本位制度であり、  
古くはローマ時代から用いられていた。  
しかし法的に実施されたのは1816年に英国で定  
められた貨幣法であった。  
この制度の中では通貨の発行量は金の準備高  
に拘束される。

これまで人類により採掘された金は17万tとされて  
おり、現在は年間に約2.5tが採掘されているとの  
ことで、計算上はあと15年程度で地球に埋蔵し  
ている金は枯渇すると考えられている。  
ちなみに世界の国別金保有ランキングでは米国  
が8.13千tと群を抜いており、以下独国(3.37千  
t)・IMF(2.81千t)が続く。  
日本は0.76千tで9位と少々寂しい。  
中国は2012年の1千tから5年間で日本の保有  
量を超える金を買増し増して1.84千tで6位に食  
い込んでいる。

貨幣価値としては至極正当な金本位制度だが、  
日本の保有量を見ても分かるように金保有量  
を超える通貨が流通しないのが難点であり、多くの  
場合は戦争をきっかけとして、これを打破すべく  
管理通貨制度が用いられるようになった。

ザックリ言えば、この制度の中では輪転機を回せ  
ば自由に富を生み出せる。  
この制度があるからこそ、金保有量の乏しい日本  
が「経済大国」と呼ばれているのも事実である。  
ただし当然のことながらこの都合の良い制度に  
は欠点もある。

昨年11月8日、インドのナレンドラ・モディ首相は  
1000ルピー札と500ルピー札は4時間後に法的適  
用力を失うと宣言した。それらの紙幣は新しい紙  
幣に交換できること、年内中は銀行に入金でき  
ることが条件に付け加えられていた。  
目的は汚職の防止とアンゲラマネーのあぶり出し  
であった。

しかし、その2つの紙幣は流通紙幣の86%を占め  
ており、また銀行口座を持たない人が54%もいた  
ため多くの人が仕事を休み銀行に長蛇の列を  
作ったためインド経済は不活性化してしまった。

この出来事は、正に通貨は国家が定めた価値  
に過ぎないことを良く表している。  
実は仮想通貨と国家が定めた通貨には、信頼  
度という点では大差がないのかもしれない。

とは言え、BTCのようにデータで生み出し管理さ  
れる仮想通貨と流通紙幣では安心感が違うの  
だよ、武田くん!  
とお説教されるかもしれないのでもう少し書き足そう。  
貴方が持っているお金を銀行に預けたのち同額  
を引き出した。

果たしてそれは同じお金でしょうか?

答えはNOだ。

銀行も支店に無限の札束を置いておくリスクは  
避けたいので、入金されたお金はすぐに「データ」  
として管理される。

その方が安全だからだ。

となると仮想通貨という考え方そのものは、我々が

感じているよりも遥か以前から共有認識として受  
け入れられていたのかもしれない。

ところでBTCが普及した理由の一つには手数料  
の安さがある。

多くの人が利用するクレジットカードは、利用者  
にとってはポイント付加などのメリットもあり大変便利  
なものだが、加盟店側からすると業種によって2  
~10%の手数料をカード会社側に支払わねばな  
らず効率が悪い。

対してBTCは決済代行会社を経由しても手  
数料は1%と安く、これが加盟店にとってのメリ  
ットとなっている。

またカード利用の場合はカード会社からの支  
払い月末に一括となるのに対して、BTCはその日  
のうちに決済されるので店の資金繰りが楽になる。  
詳細は割愛するが送金手数料なども安く、これも  
メリットと捉えられている。

では結論としてBTCは世界通貨として今後も更  
なる広がりを見せるのだろうか?

結局のところ現時点では誰にも分からない。  
それは、評論家達(なんと気楽な職業でしょう!)が  
各々の持論を展開していること、BTC価格が期  
待値による乱高下を繰り返していることなどが証  
明している。

先述したように、通貨とは国家が定めた価値である。  
特殊な例を除いて人には帰属する国があり、そ  
の国に対する信頼は多かれ少なかれ抱いてい  
ると思う。

対して世界共通価値である仮想通貨は平等で  
あるがゆえに責任の所在が明確ではない。この  
ことを持って個人的には仮想通貨が世界の中心  
になる日が来るとは考えにくい。

従って当面は利用するにしても、手数料の安さ  
というメリットを利用する程度に留めておいた方が  
安全ではないかと考えている。

ただし投機としてのリスクを厭わない勇者は、チャ  
レンジした後コソコソ結果を教えてください。

## 命の時間を意識し 利他の心で生きる

これからは認知症の増加が大変な問題となります。厚生労働省は65歳以上の7人に1人、約462万人が認知症であるとしています。2025年には700万人に増加すると予想しており、早急な対策を求めています。

認知症を発症された方の支えとしては、「医療」「介護」そして「生活支援」で対応するのが現在の保健福祉の体制です。これらは専門分化が進み、様々なサービスがそれぞれ力を発揮して機能するようになっていきます。このため、対象となる方を中心に、幾つもの事業者が連携することが欠かせません。連携というのは言葉ほど簡単なものではなく、いかにつながりを良くする

もの方を受け入れ、治療の陣頭指揮をとったことなどは大変有名です。

この治療の場となった聖路加国際病院は、日野原先生が東京大空襲をご経験されたことから、大規模な被害にも対応できるような広いロビー空間や礼拝堂を備えた構造としたそうです。目先の効率ばかりを追求してはこのようなことはできないでしょう。日野原先生は生涯をかけて医療者、そして病院のあり方を私達に差し示してくれたのだと感じます。



かが大きな課題となっています。

こうした状況を背景に当グループでは京都府・宇治市初のモデル事業として、「京都認知症総合センター（仮称）」を特別養護老人ホーム「ヴィラ鳳凰」の敷地内（宇治市）に開設致します。

センターは認知症初期から人生の最終段階までの支援にかかる「医療支援」「初期支援」「在宅支援」「施設・居住系サービス」の4つの機能を持ち、これを有機的につなぐことで認知症の方への対応を充実させる全国でも珍しい取り組みです。新たに、認知症外来や認知症患者さんへの訪問診療、認知症対応型デイサービス、グループホーム、そして常設型の認知症カフェを設け、

そのあふれる原動力についてお聞きしたところ、1970年に発生した『よど号』ハイジャック事件に遭遇し命の危機を迎えられたのがきっかけなのだと言っていました。ハイジャック犯に解放された日野原先生は『これは与えられた命だ。誰かのために生きよう』と決意されたそうです。心に期すものがある方のお力というのは大変素晴らしいのだと、感じ入った次第です。

日野原先生と親交が深く、また敬愛の念をいつも語っておられた瀬戸内寂聴さんは、「日野原先生は人間って感じせず、死なないと思っていた。でもやっぱり亡くなるのですね」と仰っておられます。どんなにお元気で活躍されている方でも、やはり死というものは平等に訪れます。私も驚きと深い悲しみを抱いております。

実は、日野原先生、瀬戸内寂聴さんとは、本誌ただ通信100号の発刊に際し、記念の鼎談をさせて頂きました。この鼎談で日野原先生は大変、貴重な言葉を語っておられます。それは命に関する問いかけです。

ヴィラ鳳凰のサービスと一体的に運用するものです。

認知症は発症の予防が非常に重要です。先程の統計では認知症の予備軍(MCI)の方が400万人にもなるとの推計です。この予備軍の方がみな、認知症になる訳ではありません。早期の発見と対応が重要です。

病気の予防という言葉で真っ先に、思い起こされるのが、先日他界された大先輩、日野原重明先生です。早くから予防の重要性を説き、本邦で最初の人間ドックを開設されました。ご功績は数多いですが、地下鉄サリン事件に際して、被害に遭われた640名

「目に見えないもう一つ大切なもの、

それはあなたの持つている時間だ」

つまり、生きるということは、与えられた時間をどう使うかという問いかけなんです。全国の小学生にこの問いかけをしておられたそうで、「10歳の子どもでも理解できることだ」と笑っておられました。ところが、小学生が理解できるものであっても、余命がまだたくさんあると思っていたりすると、大人であつても理解し行動するのは難しいのではないのでしょうか。ここは私も日野原先生を見倣い、まだまだ成し得ることがあると考え、生きていこうと思います。

やはり大切にしたいのは当グループが経営理念に置いている「思いやりの心」です。日野原先生が仰った『誰かのために生きよう』と同じものだと思います。他人に尽くす。友人に尽くす。家族に尽くす。職員に尽くす。世のために尽くす。この利他の心をもって、より良い医療、より良い地域づくりとなることを期待いたします。

武田病院グループ 会長

武田 隆男



# 武田病院グループの機能と役割

武田病院グループは地域医療構想に対応した機能分化と医療の質の向上、地域包括ケアの推進につとめています

## 医療密度が極めて高い医療を提供

### 高度急性期

ICU(集中治療室)、CCU(冠疾患集中治療室)、SCU(脳卒中集中治療室)、HCU(準集中治療室)で実施するような重症者に対する治療を行います

## 状態の安定化に向けた医療を提供

### 急性期

症状・徴候の発現が急激で生命の危機状態にある時期です  
病气やけがによる症状が急激に現れ、全身管理を必要とします

## リハビリテーションを集中的に提供

### 回復期

生命の危機状態から脱し、症状が安定に向かっている時期です  
機能障害の程度に応じた日常生活・社会生活への適応を促します

## 長期にわたる療養等の医療を提供

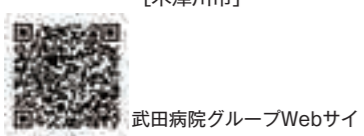
### 慢性期

症状・徴候は激しくないが治癒することが困難な状態が長期間にわたって持続する時期です  
長期間の管理、観察、あるいは治療、看護が必要とされます

<b>木津屋橋武田病院</b> 111床 介護療養 訪問診療	<b>稲荷山武田病院</b> 55床 障害者病棟 37床 緩和ケア病棟 18床 訪問診療 訪問リハビリ	<b>宮津武田病院</b> 65床 障害施設等 健診 透析 20床	<b>北山武田病院</b> 60床 障害施設等 訪問診療	<b>精華町 国民健康保険病院</b> 50床 障害施設等 訪問リハビリ 透析 20床	<b>十条武田 リハビリテーション病院</b> 182床 回復期リハ病棟 100床 障害者病棟 43床 訪問リハビリ 透析 20床	<b>宇治武田病院</b> 177床 地域包括ケア病床 8床 健診 透析 50床 訪問リハビリ	<b>医仁会武田総合病院</b> 救急 ICU CCU HCU SCU 500床 地域包括ケア病棟 60床 健診 透析 10床	<b>武田病院</b> 救急 ICU CCU HCU SCU 300床 地域包括ケア病棟 50床 画像診断センター (PET検査) 透析 20床	高度急性期 急性期 回復期 慢性期
[京都市下京区]	[京都市伏見区]	[宮津市]	[京都市北区]	[精華町]	[京都市南区]	[宇治市]	[京都市伏見区]	[京都市下京区]	

<b>武田病院健診センター</b> [京都市下京区] 健診	<b>山科武田ラクトクリニック</b> <b>山科武田ラクト健診センター</b> [京都市山科区] 健診	<b>京都駅前 武田透析クリニック</b> [京都市下京区] 透析 46床	<b>武田クリニック (血液透析センター)</b> [京都市伏見区] 透析 34床	<b>梶井町放射線診断科</b> [京都市上京区]	<b>たけだ診療所 (免疫・遺伝子クリニック)</b> [京都市下京区]	<b>京都壬生苑診療所</b> [京都市中京区]	<b>辰巳診療所</b> [京都市伏見区]	<b>児玉記念 乳腺クリニック</b> [京都市北区]	<b>柳馬場武田クリニック</b> [京都市中京区]	<b>康生会クリニック</b> [京都市下京区]	診療所
-------------------------------------	---	---	---	------------------------------	---	-----------------------------	--------------------------	--------------------------------	-------------------------------	-----------------------------	-----

<b>地域包括支援センター等</b> 京都市 下京・中部地域包括支援センター (高齢サポート・下京中部) [京都市下京区] 京都市 下京区地域介護予防推進センター [京都市下京区] 京都市 醍醐・南部地域包括支援センター (高齢サポート・醍醐南部) [京都市伏見区] (白寿内) 京都市 大宅地域包括支援センター (高齢サポート・大宅) [京都市山科区] (ヴィラ山科内) 木津川市地域包括支援センター加茂 [木津川市]	<b>居宅介護支援事業所</b> 武田病院 居宅介護支援事業部 [京都市下京区] ヴィラ稲荷山 居宅介護支援事業所 [京都市伏見区] 老人保健施設白寿 居宅介護支援事業所 [京都市伏見区] ヴィラ山科 居宅介護支援事業所 [京都市山科区] ヴィラ山科 居宅介護支援事業所 清水焼団地センター [京都市山科区] ヴィラ鳳凰 居宅介護支援事業所 [宇治市] ヴィラ鳳凰 居宅介護支援事業所 槇島センター [宇治市] 加茂の里 居宅介護支援事業所 [木津川市]	<b>デイケア</b> 白寿 [京都市伏見区] いわやの里 [京都市山科区]	<b>デイサービス</b> 三条小川デイサービスセンター [京都市中京区] ヴィラ稲荷山デイサービスセンター [京都市伏見区] ヴィラ山科デイサービスセンター ヴィラ山科オレンジデイサービスセンター [京都市山科区] デイサービスセンターヴィラ鳳凰 [宇治市] 城陽市立東部デイサービスセンター [城陽市] デイサービスセンター加茂の里 [木津川市]	<b>訪問リハビリテーション</b> いわやの里訪問リハビリテーション [京都市山科区]	<b>訪問介護</b> たけだホームヘルプサービス三条小川 [京都市中京区] 訪問介護ステーションヴィラ山科 [京都市山科区] 訪問介護ステーションふくろう [宇治市] 訪問介護ステーションヴィラ城陽 [城陽市] 訪問介護ステーション加茂の里 [木津川市]	<b>有料老人ホーム</b> あいらの杜 宇治五ヶ庄 [宇治市] ※介護受託施設 グループホーム・看護小規模多機能 鳳凰横島 [宇治市]	<b>老人保健施設</b> 白寿 [京都市伏見区] いわやの里 [京都市山科区]	<b>特別養護老人ホーム</b> ヴィラ稲荷山 [京都市伏見区] ヴィラ山科 [京都市山科区] ヴィラ鳳凰 [宇治市] 加茂の里 [木津川市]	<b>ケアハウス</b> やまぶき [宇治市] ヴィラ城陽 [城陽市] あじさい [木津川市]	介護・福祉施設
---	---	--	---	---	---	--	--	---	--	---------

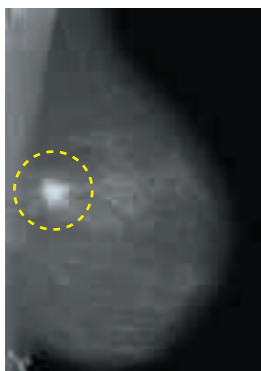


## 武田病院グループ健診部門

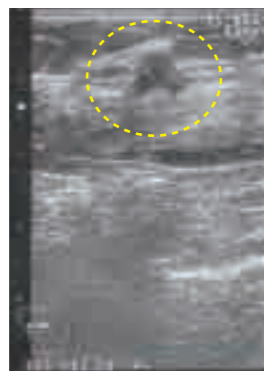
### マンモグラフィと乳腺エコーで早期発見へ 乳がん検診を受けましょう

「乳がん検診」で皆さんが最初に思い浮かべるのはマンモグラフィではないでしょうか。

マンモグラフィでは、初期の乳がんは主に濃く白い小さな石灰陰影あるいは白い腫瘤陰影として描出されます。しかし、高濃度乳腺では、乳腺が密集しているため全体が真っ白な画像になってしまい、白い腫瘤陰影が見落とされる（マンモグラフィ上分からない）心配があります。



マンモグラフィで撮影した脂肪性乳腺の乳がん



乳腺エコーで撮影した高濃度乳腺の乳がん

これに対し乳腺エコーでは、初期の乳がんは主に黒い腫瘤陰影として描出されます。ただし、腫瘤をきたさない小さな乳がんが見落とされる心配があります。

このため、マンモグラフィと乳腺エコーの2つを組み合わせることで、初期の乳がんを見落とす危険性が少なくなります。

乳がんで死亡する患者さんの数は年々増え続けています。2015年の統計では、全国で13,584人の方が亡くなっており、一生のうちにおよそ12人に1人が乳がんと診断される状況です。やはり重要なのは早期発見による早期治療です。検診費用を助成する公的制度もありますので、是非、スタッフまでご相談下さい。



武田病院健診センター 山科武田ラクト健診センター 宇治武田病院健診センター 医仁会武田総合病院健康管理センター

お電話でのご予約は、下記「武田病院グループ総合窓口」より承っております。

**075-746-5100**

音声ガイダンスが流れますので、ご希望に応じて番号を押してください。

## 医療法人 財団 康生会 武田病院

### 心臓リハビリテーション室を新設しました チーム医療でさらなる質の向上に努めます

このたび当院の7階病棟に「心臓リハビリテーション室」を新設いたしました。心臓リハビリテーションは心筋梗塞や心不全などの心臓疾患をお持ちの方を対象に、安全性を確認しながら全身の機能回復、再発予防や生活の質の改善などを目的に運動療法や生活指導を行う治療です。当院で約18年の実施経験・実績があります。リハビリテーションスタッフは医師や看護師、理学療法士、健康運動指導士、管理栄養士、薬剤師、社会福祉士など多職種によるチームで患者さんに必要なサポートを行います。

現在は入院患者さんを対象に行っているのですが、近々、外来通院の方も心臓リハビリテーションを受けていただけるよう体制を整えているところです。地域の患者さんが、さらに安心と信頼を感じて頂けるような心臓リハビリテーションを提供できるよう、職員一丸となって努力してまいります。

現在は入院患者さんを対象に行っているのですが、近々、外来通院の方も心臓リハビリテーションを受けていただけるよう体制を整えているところです。地域の患者さんが、さらに安心と信頼を感じて頂けるような心臓リハビリテーションを提供できるよう、職員一丸となって努力してまいります。



心臓リハビリテーション室を開設



心臓リハビリテーションの様子

## あいらの杜 宇治五ヶ庄

### 『キッズケア体験』を開催 小学生6人が介護現場を楽しく体験

夏休みが始まったばかりの7月29日(土)、あいらの杜宇治五ヶ庄で『キッズケア体験』を開催しました。介護施設に小学生を招き、楽しみながら介護の仕事を体験してもらうという初めての取り組みです。当日は、4年生～6年生の児童6人が参加しました。

高齢者体験では、機械浴に入浴した児童は興味深々で「こ

んなお風呂あるんや〜!」と、終始興奮している様子でした。

看護師体験では、脈拍測定や血圧測定、呼吸音の聴診を体験。聴診器をあてた児童は「なんか聞こえてきた!」と看護師さん気分を味わうなど、「すごく勉強になった」「全部楽しかった」と答えてくれました。



キッズケア体験に参加した小学校4～6年生の児童



看護師体験で聴診や血圧測定をする様子



入浴体験で驚く児童

## 宇治武田病院

### 脳神経外科に本田雄二部長が着任しました

今年7月1日より宇治武田病院脳神経外科部長として着任いたしました。今後、多くの外来患者さん、入院患者さんの対応をさせて頂きたいと思っております。

まずは地域の患者さんに当、脳神経外科の診療を知っていただくことが重要だと考えています。「これは頭からくる症状かもしれない」と、ご不安に感じることがありましたら、お気軽にご相談頂きたいと思っております。

また、外来診療だけでなく、救急医療にも可能な限り対応させて頂き、地域の医療に貢献していく考えです。どうぞ宜しくお願いします。



本田 雄二(ほんだ ゆうじ)  
宇治武田病院 脳神経外科 部長

・1993年 大阪市立大学医学部 卒業  
・日本脳神経外科学会 専門医

脳神経外科 外来診療担当医

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
午前	本田部長	担当医	担当医	本田部長	担当医	



## 社会福祉法人 青谷福祉会 特別養護老人ホーム ヴィラ山科

### 京都市のモデル施設として “マッスルスーツ”を導入

ヴィラ山科では“着るロボット”として話題の「マッスルスーツ」を導入し、現場介護で活用しています。

これは、スタッフの身体的負担の軽減や業務の効率化を通じ、スタッフが継続して就労できる環境の向上をめざす、国の「介護ロボット導入支援事業」に沿ったものです。当施設では、京都市の認定を受けた補助事業として1月から実施しています。

はじめはスーツを装着した姿に利用者さんが驚いたり笑っ



マッスルスーツを装着したスタッフ。介護するスタッフ・利用者さんの体格や筋力に関わらず、安定した介助を行うことができます。

### インカムを活用して安全性をアップ！ スタッフを一つにする効果につながっています

「ちょっと〇〇さん！ こっちへ来てー！」「今、手が離せないから、〇〇さんの介助をお願いします！」

こうしたスタッフの大声が響く介護事業所は珍しくないと思います。でも施設が広いと声を張り上げるのも大変です。張り上げても聞こえないこともあるでしょう。

そこでヴィラ山科では今年2月からインカムを30台導入し、スタッフが身に着けることにしました。特別養護老人ホーム、デイサービス職員の出勤者全員が身に着けています。インカムを使用することで、スタッフが各々の業務についているときでも、迅速に連絡し合せて、他のスタッフを探す時間が短縮されます。

また、歩行不安定な利用者さんがお一人で歩かれている時に、他の利用者さんの介護で手が離せなくてもインカムで他のスタッフに連絡して、利用者さんの転倒を回避することも可能です。



例えば作業中であっても何かあればすぐ他のスタッフに声かけができます

たりしましたが、次第に見慣れてきたようです。実際、使ってみると、持ち上げたり下ろしたりの動作で腰への負担が大きく軽減されます。とくに重篤な利用者さんに複数で対応する際は、装着者が中心となって移乗作業に専念するなど、より良い運用方法を研究しています。

介護現場は日進月歩です。新しいものを取り入れ、利用者さんやご家族にとってより良い環境をご提供できるよう、今後も努力してまいります。



マッスルスーツを使用して移乗の様子。使用状況や感想などデータを集めて集計しています。導入後、腰痛を理由とするスタッフの休職・離職はありません

最初は他のセクションに連絡するたびにチャンネルを合わせるという手間がありました。現在、全てのセクションを同じチャンネルに統一しています。必要時に迅速に連絡し合え、スタッフ間につながっているという安心感と利用者さんの安全が守られることで、介護の現場を良くしていると感じます。



インカムで情報がくるので、対応できるスタッフが返事をしてすぐサポートできます

30台のインカムを導入しています

## 武田病院グループ

### 医療と介護の合同研修を開催 “対象者中心”の意識を共有し顔の見える連携を

本部福祉介護事業部門・医療介護連携担当では、武田病院グループの病院・施設間連携における相談援助職の人材育成と連携体制の確立を目的に、2年前から研修会を開催しています。

昨年度に実施したグループ内アンケートで、“入院・退院時のつなぎ部分”で病院側・施設側に認識のズレがあることが分かったため、今年度の研修会はこの対策として、グループ内の病院、施設・居宅ケアマネ間連携における「連携体制の確立」と「より良い医療・介護連携を図る」ための意見交換を行うことを企画しました。

具体的には、実務経験年数や職種の役割と定義を明確にした上で、共通するテーマを設定し、多職種間で建設的な意見交換を「ワールド・カフェ方式」で行うというものです。様々な調整を経て7月1日（土）に医仁会武田総合病院 林ビルで開催に至りました。

「ワールド・カフェ方式」とは、参加者が幾つもの小テーブルに分かれ意見交換を行う会議手法です。お茶を頂きながら、まるでカフェにいるような堅苦しくない雰囲気なので発言が出やすく、お互いを理解する効果や自由な発想を得る効果が期待されます。

当日は、施設相談員、居宅・施設のケアマネジャー、地域包括支援センター、地域医療連携室のMSW（メディカルソーシャルワーカー）、退院支援ナース、グループ内関係者ら82名が参加。「それぞれの職種で“何を主眼”に業務をしているか」とのテーマで活発な意見交換を行いました。

同じグループ職員でも職域が違えば、顔を合わせるケース



が少ないものです。参加者からは、「電話でしか話をしたことがなかった方と初めて会えました。直接、知り合えることで、これからの仕事でとても役立ちます」「施設も病院も皆、目指している事は同じだという事を感じられて、とても清々しい気持ちです」などの声が聞かれました。

「患者さん」「利用者さん」など、対象となる方の呼び方は異なりますが、“ご本人を中心に捉え多職種で支援する”ことの大切さは同じであるとの共通認識が得られたようです。

多くの参加を頂き、どのテーブルも非常に盛り上がりました。また参加者数も多いため、相手の声が聞き取りにくいぐらいでしたが、お互いの距離を縮められる貴重な機会となりました。今後も研修活動を通じて連携力を高め、武田病院グループのスケールメリットを活かし、地域の皆さんを支える環境づくりの向上に努めてまいります。

武田病院グループ本部  
福祉介護事業部 医療介護連携担当 課長  
木村 文昭



ワールド・カフェ方式で関連な意見を交換

社会的孤立に陥りやすい状況

単身世帯

健康状態が良くない

経済的に余裕が無い

武田病院グループでは、4つの地域包括支援センターを市からの委託を受けて運営しています。私が所属しています下京・中部地域包括センターは、西本願寺の南北を中心とした五学区を担当しています。

地域包括支援センターは、2005年の介護保険制度改正にて各市町村に設置された高齢者の相談窓口であり、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防ケアマネジメントなどを総合的に行い、主任介護支援専門員、保健師等、社会福祉士の三職種の専門職配置が基準となっています。

地域とのつながりを大切に…  
下京・中部地域包括支援センターの現場より

ナーシングメッセージ

当センターの看護師として高齢者の社会的孤立に焦点をあて、癒しアートCafeと名づけた活動を2014年よりおこない、精神的健康度を高めるための「居場所作り」に取り組んできました。

そこで、癒しアートCafeについて紹介させていただきます。

おおむね65歳以上の地域住民を対象に月1回、午前、午後の2部制にし、各定員を8名の少人数の中、和やかにを行っています。

方法は、好きな色のハードパステルを削り、15センチ四方の画用紙に指で色をつけ、型にあわせて消しゴムで消し、左右対称の曼荼羅模様を独自に作っていきます。その後、飲み物を飲みながら絵の鑑賞や談笑、また、地域介護予防推進センターによる体操や健康指導をしていたり、関係機関との連携も図っています。

内閣府の「高齢期に向けた「備え」に関する意識調査（平成25年）では、高齢期に行いたい社会参加として「サークル活動・仲間と行う趣味・教養」が一番多



癒しアートCafeの様子



参加者皆によって曼荼羅模様を作ります

くをしめ、「スポーツ・レクリエーション活動」「習い事」「地域行事への参加・手伝い」「ボランティア活動・NPO活動」と、趣味活動を通して社会参加をのぞんでいることがわかりました。

一人暮らしに関わらず、外部との接触機会が少ない高齢者にとって、気軽に集まることができる居場所を提供し、地域に作り出していくことは、QOLを高

めることができる手段のひとつとなり、自助および互助によりエンパワーメントを最大に引き出せるきっかけになると思います。地域包括ケアシステムの図のごとく、当事業所も地域の礎となりながら、今後も高齢者の「居場所作り」の設置や自主的な社会参加活動の取り組みを支援していきたいと思えます。

京都市下京中部  
看護師 副主任

地域包括支援センター

岡田 知子



運動療法の取り組み  
治療の運動療法と予防の運動療法

病気予防・治療で大切なものとして運動があげられます。その運動を担当する職種の一つが健康運動指導士です。まだまだ常勤で配置する病院は少ないのですが、武田病院グループでは、康生会武田病院、医仁会武田総合病院、京都市下京区地域介護予防推進センター、康生会クリニックの4箇所に8人の健康運動指導士を常勤で配置しています。

康生会武田病院では、心臓病の方へ、急性期からの心臓リハビリを行い、医師や看護師、理学療法士と連携し、再発予防の運動療法を行っています。

医仁会武田総合病院においても、多職種と連携した心臓リハビリと、疾病予防センターでの生活習慣病予防の運動療法を行っています。

地域介護予防推進センターでは、地域に出て運動や栄養、口

腔教室を通して健康増進・病気予防をするのが主な活動です。地域の会場にお伺いして健康運動を実演し、病気の知識を得ながら、運動を楽しんでいただいています。



康生会クリニックの運動療法室。生活習慣病、心臓リハビリの運動指導をする今井科長

喜ばれるプログラムを工夫し1991年から地域で運動を実践

武田病院グループが地域での運動療法を開始したのは四半世紀も前となる1991年です。当時としては大変珍しい取り組みで、お手本となるプログラムもありませんでした。もちろん色々と考えて準備をしていくのですが、参加者の方の状態をみて、その場で調整することがほとんどです。『行けば、地域が求めているものが見えてくる』ということを感じました。

まず取り入れたのが、気候の変化、流行する疾病などの情報提供と、これに関連する病気の予防です。この運動をするとこのような病気予防になることをご説明すると、皆さん喜ばれます。参加される方は大変、勉強熱心ですので、「ええ話聞いたな」と感じてもらう

ことが、運動の継続であったり次の参加につながるのです。

何より大事にしているのは安全面です。参加される方の心身の状態はまちまちですので、様子を見ながら、力を入れる動作、身体を柔らかくする動作、呼吸の配分を考え進めています。

長年、地域で活動を続けることで、老人クラブや女性会など様々な集まりに呼んでいただくことが増えました。今後も地域の皆さん方とのつながりを大事に健康づくりのお役に立てていきたいと思えます。

医療法人財団康生会 康生会クリニック  
健康運動指導士  
科長 今井 優



京都市下京老人福祉センターで定期開催しているプログラム「脳いきいき健康クラブ」の様子。この日は地域の方25人が参加し「声を出す」「考える」の二重課題を行いながら有酸素運動をしました。脳の血流量が高まり認知機能低下の予防効果が期待されます。 ※写真は脚力やバランス能力の運動

## 薬を使うときに注意していただきたいこと

## 1. 用法・用量をしっかりと守る。

用法用量は、薬が入っている袋などに記載されています。薬を受け取ったら、まずご自身のお名前が記載されているかご確認ください。そして、記載されている「のみ方」「使い方」をその通りにできるか考えてみてください。

「用法」とは1日に使用する回数、例えば1日3回毎食後などを指し、「用量」とは1回に使用する量、例えば1回2錠などを示しています。

「用法」「用量」が定められているのには、大事な理由があります。その通りに行うのが難しい場合は、医師・薬剤師にご相談ください。

## 2. ご自身の判断で薬を中止しない。

症状が軽くなったと思っても、まだ病気が治りきっていない場合があります。ご自身の判断で薬を中止せず、必ず医師・薬剤師にご相談ください。とくに抗生物質は、「もう大丈夫ですよ」という指示がない限り、なくなるまでのみ切ってください。症状が軽くなったと感じていても、細菌・ウイルスが身体のなかでまだまだ活動しているものです。

## 3. 薬のやりとりはしない。

症状が似ているようにみえても、他の人とは病名や進行状況などが異なり、行うべき最善の治療法が異なることはよくあります。処方された薬は、その方の今の状態にあった薬ですから、他の人では症状が悪化する可能性があります。

## 4. 古い薬は使わない。

例えば熱が出たときに、「ああそうだ、風邪薬の熱冷ましが残っていたな」と、昔処方された薬の服用を考えるかも知れま

せん。しかし本当に風邪なのでしょう？インフルエンザなどの他の病気かもしれません。実は風邪薬の中には、インフルエンザに使ってはいけない薬もあるのです。恐ろしいですね。

## 5. 使っている薬の名前を覚えておく。

薬の情報は、医療機関以外に新聞やテレビなどから伝えられることもあります。ご自身を守るためにも、どの薬で治療しているのか覚えていてください。ただし、薬を多種服用しているなど覚えることが難しい場合もあると思います。その場合は「お薬手帳」を確認されるか、ご自身でお薬手帳に記載しておくことも一つの賢い方法です。お薬手帳は自らの「健康手帳」としてご活用ください。

## 6. 薬に関する質問は医師または薬剤師に聞く。

今まで述べてきた内容のまとめとなります。「薬による治療は大切なもの」との認識は、お持ちのことと思います。でも毎日の服薬を守り続けることの難しさは、薬剤師も十分理解しています。そうした場合のアドバイスなど、薬の専門家として、様々な対応方法をお伝えすることができますので、お気軽にお尋ねください。

ここでは薬を使うときの注意事項を6つに絞りご説明しました。これら以外にも、薬剤師からお伝えしたいことはたくさんあります。場合に応じ、個別にお話を伺いながら、とっておきの薬のお話をお伝えできればと考えております。また、ぜひ薬剤師への暖かいお声がけもよろしくお願いいたします。

宇治武田病院 薬局長  
内本 恵介



## 話題の油は目安量と使い方を守りながら、上手に取り入れましょう

健康を維持するために昨今様々な油が注目されています。

目安量と使い方を確認して、取り入れるようにしましょう。目安量は1日に小さじ1～大さじ1杯程度。摂り過ぎは肥満の原因になりますが、控え過ぎると良くない場合もあります。

保存方法は、空気や光により劣化してしまうため、冷暗所で保管しましょう。

## ～身体に良い油の紹介～

- ・**サラダ油、ごま油**  
コレステロール低下作用がありますが、摂り過ぎると悪玉(LDL)コレステロールだけでなく、善玉(HDL)コレステロールを下げてしまいます。熱に強く、炒め物・揚げ物にも使えます。
- ・**オリーブオイル**  
善玉(HDL)コレステロールは減らさず、悪玉(LDL)コレステロールのみを減らします。熱に強く、炒め物や揚げ物にも使えます。
- ・**亜麻仁(アマニ)油、えごま油**  
体内に入ると、魚の脂肪分に含まれるDHA,EPAに変化します。熱に弱いので、和え物等、加熱しない料理で使用しましょう。



**DHA,EPAとは?**  
秋が旬のさんまや鯖に多く含まれます。悪玉コレステロールを低下させ、動脈硬化等の生活習慣病を予防、認知症発症リスクの低減にも繋がります。

宇治武田病院  
栄養科  
管理栄養士  
細川 早紀

## 〔さんまのペペロンチーノ風〕

1人分 エネルギー 417kcal たんぱく質 20.2g 食塩相当量 1.1g

## 材料(1人分)

さんま150g(1尾)、オリーブオイル4g(小さじ1)、にんにく5g(1/2かけ)、赤唐辛子1本、ミニトマト45g(3個)、白ワイン15g(大さじ1)、塩少々、こしょう少々、パセリ少量

## 《作り方》

- ①さんまは頭・内臓を除き、水洗いする。2等分し、両面に切れ目をいれ、水気を拭く。
- ②にんにくを薄切り、赤唐辛子を小口切りにする。
- ③ミニトマトはへたをとり、半分に切る。
- ④フライパンにオリーブオイルを熱する。②を加え香りが出たら、①を焼く。
- ⑤さんまに火が通ったら、③と白ワインを加え、蓋をして蒸し焼きにする。
- ⑥塩、こしょうで味を整える。皿に盛付けて、パセリをのせる。



## 〔きのこサラダ〕

1人分 エネルギー 78kcal たんぱく質 3.4g 食塩相当量 1.4g

## 材料(2人分)

生しいたけ20g(2個)、エリンギ15g(中1/2本)、しめじ50g(1/2パック)、ほうれん草150g(1/2束)、黄パプリカ20g(1/8個)、にんじん20g(1/10本)、コンソメ3g(小さじ1)、粒マスタード3g(小さじ1/2)、えごま油、なければオリーブオイルやサラダ油8g(小さじ2)、酢5g(小さじ1)

## 《作り方》

- ①しいたけは石づきをとり、薄切りにする。エリンギは薄切りにする。しめじは小房に分けておく。にんじんは飾り切りにする。
- ②鍋に湯を沸かした所に固形スプーンの素をいれ、①を茹でる。ざるにあげて荒熱をとる。
- ③塩少々(分量外)をいれ、ほうれん草を茹で、冷水にとる。食べやすい大きさに切って水気を絞る。
- ④黄パプリカは薄切りにする。
- ⑤粒マスタードと油、酢を混ぜ、②③④を和え、器に盛り付ける。



## 新たに初期臨床研修医 9 名を迎えました。

武田病院グループでは、今年度も新たに初期臨床研修医を迎えることができました。

初期臨床研修医は、プライマリ・ケアから救急医療、地域医療など専門分野から一般的な日常診療まで幅広く学び、将来専門とする分野にかかわらず、常に患者さんを思いやる気持ちを持ち、医師としての人格を形成し、医療の果たすべき社会的役割を身につけていきます。

今後も当グループでは、医師をはじめとする医療従事者の育成を通じ、地域医療の発展に貢献していきます。どうぞ宜しくお願いします。



左から川崎有加 先生(宇治武田 歯科研修医)、大津晋太郎 先生(医仁会 歯科研修医)、菟畑由依 先生(医仁会)、倉石佳奈 先生(医仁会)、福井萌子 先生(医仁会)、金岡聖恵 先生(医仁会)、河生多佳雄 先生(医仁会)、提島丈雄 先生(医仁会)、佐藤将嗣 先生(康生会)

## ケアアドバイス



### 「ブリッジ思いやりの会」 介護現場のやりがいを伝えています

とても大切な役割を担う「介護」スタッフ。ところが慢性的な人不足が続いており、武田病院グループでは、優秀な“人財”を確保するため、20代の若手職員で構成する「ブリッジ思いやりの会」を2014年に発足。様々な介護現場の魅力や武田病院グループとしてのPR活動を続けています。

特別養護老人ホーム(ヴィラ山科・加茂の里・ヴィラ稲荷山・ヴィラ鳳凰)4施設、老人保健施設(白寿・いわやの里)2施設から1名ずつ選出され、今回のメンバーはその2代目となります。

既に就職フェアで活躍しており、求職者へのPRや意見交換を踏まえ、どのように気持ちを伝えていくか、ブラッシュアップのために会議を重ねています。

この日の議題の一つとなったのは「伝え方」そのものです。チラシやポスター、またパワーポイントを使ったプレゼンテーションも行っていましたが、これに加え現場の様子を動画で伝えようという意見が交わされました。

フェアで対応する“先輩職員”として、入職動機や仕事のやりがいを尋ねられることも多いそうです。「就職活動で施設見学をした時に利用者さんに向き合っている姿に感動した」「その人がどう思っているのか、これまでの暮らしがどうであったのかを考えながら仕事をするのがとても良いことだと感じる」など、暖かい声が多数出されました。

一番ポイントとなったのは、「武田病院グループの介護の一番の

魅力は何ですか?」との問いです。ストレートに魅力を伝えるというのは案外難しいものですが、メンバーは「グループには多様なサービスがあり、特養はユニット型や従来型がある。老健もある。通所は、認知症対応型と一般型のデイサービスと通所リハビリテーションがあります。これらのサービスを通じて様々な知識を学ぶことができます」「組織をまたぐ集まりがたくさんあって情報共有ができるのがいいです」など次々と声があがりました。

実際、活動を続けることで他の部署とのつながりもでき、「視野が広がった」との声も聞かれました。ブリッジ思いやりの会の今後の活動に期待が高まります。



## 社会福祉法人 悠仁福祉会 京都認知症総合センター\* 新規事業開始 介護職員大募集

### 新しい施設で新しい取り組みを 一緒にはじめませんか?

武田病院グループでは2018年3月に「京都認知症総合センター(仮称)\*」を宇治市に開設します。認知症の人への生活支援、医療、介護サービスを主要施設の統合や情報の連携により、同センターはこれを包括的に提供するモデル事業です。京都府・宇治市と武田病院グループが連携し、認知症総合支援施設の整備と地域づくりを併せて推進し、地域ぐるみで認知症の人を支える京都創発モデルとして注目されています。

#### 充実の福利厚生

武田病院グループでは職員とその家族が健康で充実した生活を送る事を目的とし福利厚生制度の充実に努めています。介護福祉士実務者研修受講などの働きながら資格が取れる資格取得支援規程があります。

お問い合わせ  
社会福祉法人 悠仁福祉会  
法人本部 人事担当：藤原・山岡  
TEL 0774-25-2577  
宇治市宇治里尻36-35(ヴィラ鳳凰敷地内)

採用情報詳細  
はコチラ



<http://www.takedahp.or.jp/>

たけだ [第112号]

- 発行人/武田隆男
- 発行所/京都市下京区塩小路通西洞院東入ル  
医療法人財団康生会武田病院  
TEL 075-361-1351(代)
- 編集人/「たけだ通信」編集室
- 発行日/平成29年9月20日

作者名: 橋本 由美  
作品名: 川遊びの思い出



ブリッジ思いやりの会では、各施設から若手が集まって、求職希望者に対し介護現場の魅力を伝える活動をしています。写真はプレゼンテーションの手法について議論の様子やプロモーション用の撮影を行う様子です。